

カリキュラム

No.18-116

テーマ		業務に活かす財務分析実践講座			
研修期間		平成30年7月9日(月)～7月11日(水)〔計3日間〕		研修時間：21時間	
会場		中小企業大学校直方校		受講料：31,000円	
月日	時間	科目	内容	講師(敬称略)	
7月9日 (月曜)	9:10～9:30	開講式・オリエンテーション			財務リスク研究所株式会社 代表取締役 横山 悟一
	9:30～11:30	財務分析の基本的視点	財務分析を通し、実績数値から客観的に自社の経営活動を考察し、仮説を立て経営課題を抽出し、改善策を考察することの意義を理解し、収益力と資金繰りの両面から、実数、比率、推移、業界競合比較など、多面的に数値を分析する手法について「倒産企業」、「健全企業」のモデルケースを用いて学んでいただきます。		
	11:30～12:20	収益力の検証	収益力について、各種の分析手法を理解し、これらを用いた経営実態についての検証、仮説の立案と問題発見、改善アプローチについて、モデルケース演習を交えて学んでいただきます。		
	13:20～17:30		<ul style="list-style-type: none"> ・P/Lから5つの利益の理解、B/Sとの関係 ・各種比率分析、数字比較とその背景を探る ・変動損益計算書、損益分岐点売上高分析 ・問題点の洗い出し、改善策と改善後のシミュレーション 		
	18:00～19:00	受講者交流会			
7月10日 (火曜)	9:00～12:20	資金繰りの検証	資金繰りについて、「静態」、「動態」の両面からの分析手法を理解し、これらを用いた経営実態についての検証、仮説の立案と問題発見、改善アプローチについて、モデルケース演習を交えて学んでいただきます。		
	13:20～15:30		<ul style="list-style-type: none"> ・B/Sからの安全性分析、各種比率分析 ・P/Lとの関係(売上高と各勘定科目の関連) ・運転資金、資金運用・移動(C/F) ・問題点の洗い出し、改善策と改善後のシミュレーション ・まとめの演習問題(グループ演習) 		
	15:30～17:30	自社の決算書データを用いて実際に財務分析を行い、分析手法について体得するとともに、自社の経営実態をとらえて経営課題について仮説を立案し、財務的な観点からの改善策について検討していただきます。			
7月11日 (水曜)	9:00～12:20	自社分析の実践 (演習)	<ul style="list-style-type: none"> ・自社決算書データのフォーマットへの入力 ・各種指標と推移分析(P/S、B/S、C/F) ・分析結果から見る自社の経営実態についての検証 		
	13:20～16:30		<ul style="list-style-type: none"> ・自己の業務で取り組むべき問題発見・改善アプローチの検討 		
	16:30～16:40	終講式			

※初日の講義終了後、受講者交流会(18:00～19:00)を予定しています。

※カリキュラムにつきましては、都合により一部変更する場合がございますので、予めご了承ください。